

月刊 AEHA通信

2022 年6月号

◆◆◆ 今月の主な内容 ◆◆◆

- ◇トピックス : 第 20 回理事会の開催
- ◇主な委員会活動等 : 省エネルギー対策委員会
- ◇協会インフォメーション : 今後の行事予定他
- ◇定点観測データ : 家電リサイクル法対象4品目引取実績他
- ◇溜池ボイス : そろそろ潮時



■□■ トピックス ■□■

◆第 20 回 理事会の開催 (5月30日)

5月30日(月)に鈴木副理事長の議長のもと、第20回理事会を開催しました。来賓の経済産業省商務情報政策局情報産業課西川課長にご挨拶をいただき、伊藤専務理事より2021年度事業報告及び決算報告等に関する審議等を行い、以下の議案が原案通り、承認可決されました。

●議案審議

- 第1号議案 2021年度事業報告及び決算報告の承認について
- 第2号議案 公益目的支出計画実施報告書等の提出について
- 第3号議案 指定法人2021年度事業報告書及び収支決算書の提出について
- 第4号議案 役員(理事)候補者の承認について
- 第5号議案 第19回評議員会の招集について
- 報告事項1 今後の行事予定について

2021年度 事業報告案及び決算報告案説明資料	
目次	
I 2021年度事業報告案	ページ 2~12
II 2021年度決算報告案	13~22



左から、橋本副理事長、鈴木議長、伊藤専務理事



来賓挨拶: 経済産業省 西川情報産業課長

◆第 39 回運営委員会の開催 (5月19日)

5月19日に第39回運営委員会を開催しました。冒頭、来賓の経済産業省商務情報政策局情報産業課の村上課長補佐からご挨拶をいただいた後、伊藤専務理事より、5月30日の理事会および6月15日の評議員会等の関連資料についての説明を行いました。その後、各部門長より近況の業務活動報告を行いました。



◆ 「スマートマスターがいるお店・オフィス」ニュースリリース（6月6日）

スマート化する“住まい”と“暮らし”のスペシャリスト スマートマスター
資格保有者 8,459名 全国 1,185箇所 で活動中！
～本年3月試験の結果、新たに 276名がスマートマスターとして始動～

2022年3月に実施したCBT(Computer Based Testing)方式による資格認定試験の結果、5月1日付にて、新たに 276名の「スマートマスター」が誕生しました。これでスマートマスターの資格保有者数は計 8,459名となり、全国 47都道府県の 1,185箇所の店舗・オフィスにて消費者の皆様の「住まい」と「暮らし」のスマート化を支援する体制がさらに充実しました。

家電製品協会認定センターのホームページでは、「スマートマスターがいるお店・オフィス」を都道府県別に公開しています。

<https://www.aeha.or.jp/nintei-center/consumer/smartmaster/consulting/>

https://www.aeha.or.jp/nintei-center/qualifier/procedure/smartmaster_system/



■ □ ■ 主な委員会活動等 ■ □ ■

<家電業務部関連>

◆ 省エネルギー対策委員会

○ おすすめBOOK編集会議(第15～17回)

「スマートライフおすすめBOOK 2022年度版」は、初の電子版として企画・制作を進めています。今月は、イラスト、各掲載ページの詳細確認、電子版搭載機能等を検討し6月の完成に向けて編集作業を進めています。



◆ 第1回 製品安全委員会(5月27日)

本委員会は、製品ライフサイクル全般にわたる製品安全確保の取り組み、個社では解決の難しい共通課題についての調査・研究、並びに施策の実施を目的として活動をおこなっています。

1. IoT製品安全ガイドライン普及等に関する調査結果のフィードバック
2. 2022 年度活動計画・中古・長期使用と安全性両立の課題について
3. 3月25日(METI)産業構造審議会製品安全小委員会報告
4. 令和4年度 製品安全対策優良企業表彰(PS アワード 2022)募集の依頼
【募集期間】5月9日(月)～7月29日(金)
【詳細】 https://www.meti.go.jp/product_safety/ps-award/index.html
5. 事故情報関連リコール実施した企業からの報告
6. PLセンターから2021年度の報告

◆第1回 消費者啓発委員会(5月12日)

本委員会では、近年の消費者関連の法令や制度の改正・拡充に対応し、行政、消費生活センター、消費者団体との交流を一層深め、また製品安全ページの充実を図り、消費者問題に対する業界の積極的な取り組み姿勢をPRしています。

1. 製品安全ページの更新について
2. 消費生活センター向けQ&Aページの改訂について
3. 啓発パンフレットの活用促進について
4. UD配慮家電ページの更新について

◆第2回 流通EDI標準化推進委員会(5月17日)

本委員会では、家製協 EDI 標準化仕様の更新事案に関する調査研究をおこなっています。主な議題は以下のとおりです。

1. 啓発・PR関連及び商品情報検討WG活動報告
2. ISDN終了に伴う調査結果のとりまとめについて
3. 流通企業動向について



<環境部関連>

◆第53回 製品アセスメント委員会(5月19日)

主な議題は以下のとおりです。

1. 前回議事要旨(案)確認
2. 2022 年度 事業計画推進状況について

○2022 年度 第2回 家電製品素材構成分析WG(5月23日)

主な議題は以下のとおりです。

1. 前回議事要旨(案)確認
2. 活動計画の進捗状況について

◆家電リサイクル委員会

○第2回 2022 年度普及広報WG(5月24日)

主な議題は以下のとおりです。

1. 「3秒でえらべる家電の捨て方」豆知識の新コンテンツ案について
2. 「3秒でえらべる家電の捨て方」豆知識の新コンテンツ制作スケジュールについて
3. 「3秒でえらべる家電の捨て方」SEO対策4月度報告
4. 「3秒でえらべる家電の捨て方・豆知識」の4月度アクセス件数について
5. 普及広報簡易冊子のページ構成案について
6. スケジュール・その他

○第8回 2021年度版家電リサイクル年次報告書作成WG（5月24日）

主な議題は以下のとおりです。

1. 2021年度版「家電リサイクル年次報告書」掲載内容の確認
2. チェック分担について
3. 配付先予定について
4. スケジュール・その他

<事業協力室>

◆2022年度1～3月助成金交付対応

2022年度1～3月助成金交付申請の受付は5月10日に締め切り、不法投棄未然防止事業協力は52市区町村、離島対策事業協力11市町村を受け付けました。1～3月の実績内容を確認の上、順次助成金を交付し、5月27日（金）までに完了しました。

<RKC関連>

◆第2回 SYワーキング（5月17日）

主な審議、報告事項は以下のとおりです。

1. 指定引取場所の維持、業務削減・効率化
2. 指定引取場所の業務品質向上
3. その他（指定引取場所変更情報、対象製品情報、他）



<認定センター関連>

◆スマートマスター試験問題検討ワーキング（5月16日、31日）

主な報告、審議事項は以下のとおりです。

1. 5月16日 キックオフ
 - ① 2022年3月（第42回）資格認定試験の実施結果概要
 - ② 2022年9月（第43回）資格認定試験に向けて
 - ③ 2022年9月（第43回）資格認定試験 問題策定 担当割
 - ④ 2022年9月（第43回）資格認定試験 スマートマスター試験に関する具体的審議、試験問題策定方針の確認
2. 5月31日 第1回 試験問題作成 第1回ワーキング
 - ① 試験問題原案に関する審議

◆5月度 情報発信・教育部会（5月23日）

今後の試験問題・参考書などの作成スケジュールならびに、収集情報のポイントなど審議しました。

1. 近況報告、第43回資格認定試験、A&E参考書 日程
2. 科目ごと確認したい情報
3. 5月情報 収集情報
4. マイスタディ講座「ここが要点」5月原稿ほか
5. 2022年度新体制
6. 2022年度部会日程

<管理部>

◆2022年度第1回家電ハンドブック編集専門委員会（4月25日）

2022年版「家電産業ハンドブック」の第1回編集専門委員会を4月25日に開催し、本年度の編集方針、業務分担等について審議をしました。本年度、委員長にはパナソニック株式会社・山田委員、副委員長には東芝ライフスタイル株式会社・齋藤委員が選任されました。

主な審議内容は以下のとおりです。

1. 前回(2021年10月)第7回委員会議事録の確認
2. 2022年度家電産業ハンドブック編集方針
3. 2022年版品目掲載の検討
4. 2022年版データ編見直しの検討
5. 2022年版作成基本分担の確認
6. 2022年度編集スケジュールの確認



当ハンドブックは9月末の発刊を予定し、賛助会員のみへの配布としています。また、その抜粋版(統計資料編の官庁発表関連データを主に掲載)は、協会Webサイトの会員専用ページにて掲載いたします。

<家電製品PLセンター関連>

◆第59回家電製品PLセンター連絡会（5月25日）

当協会賛助会員である関係工業会との「家電製品PLセンター連絡会」を開催しました。

主な議題は下記のとおりです。

1. 2021年度事業報告(案)及び決算報告(案)について
2. 2021年度活動報告
3. 工業会別製品別相談受付件数について
4. 2022年度事業計画及び収支予算について

■□■協会インフォメーション■□■

◆人事異動

日付	氏名	新	旧
2022年5月31日	石崎 哲史	パナソニック株式会社	事業協力室
2022年6月1日	河野 俊夫	事業協力室 (嘱託職員採用)	パナソニック株式会社



◆今後の行事予定

年	月 日	時 間	行 事	主な議題等	場 所
2022	6月15日(水)	15:00~16:30	第19回評議員会	2021年度 事業報告・決算報告 役員改選等	家製協 第1・2会議室 & インターネット会議
	6月16日(木)	—	理事会書面決議	代表理事(理事長等)選定	
	7月28日(木)	16:00~17:00	第40回運営委員会	部門別活動報告	家製協 第1・2会議室 & インターネット会議
	11月28日(月)	16:00~17:00	第41回運営委員会	部門別活動報告	家製協 第1・2会議室 & インターネット会議
2023	2月20日(月)	15:00~17:00	第42回運営委員会	2023年度 事業計画・収支予算計画 部門別活動報告	家製協 第1・2会議室 & インターネット会議
	3月 3日(金)	15:00~17:00	第21回理事会	2023年度 事業計画・収支予算等	家製協 第1・2会議室 & インターネット会議
	3月15日(水)	15:00~16:30	第20回評議員会	報告事項 (2023年度事業計画等)	家製協 第1・2会議室 & インターネット会議

■ □ ■ 定点観測データ ■ □

◆家電リサイクル法対象4品目引取実績（5月度）

2022年5月度の4品目の引取実績は、以下のとおりです。

（台数：千台）

品 目	当 月		年度累計	
	台数	前年比	台数	前年比
1.エアコン	389	108%	649	109%
2.テレビ 計	295	99%	596	97%
① ブラウン管式	59	85%	118	81%
② 液晶式・プラズマ式	237	103%	479	102%
3.冷蔵庫・冷凍庫	277	100%	571	102%
4.洗濯機・衣類乾燥機	340	99%	699	99%
合 計	1,301	102%	2,516	102%

（うち指定法人）

（台数：千台）

品 目	当 月		年度累計	
	台数	前年比	台数	前年比
1.エアコン	3	95%	5	98%
2.テレビ 計	19	90%	38	91%
① ブラウン管式	5	86%	11	83%
② 液晶式・プラズマ式	13	92%	28	94%
3.冷蔵庫・冷凍庫	20	86%	41	89%
4.洗濯機・衣類乾燥機	7	93%	16	92%
合 計	49	89%	100	90%

◆家電製品PLセンター相談等受付件数実績（5月）

2022年5月度の相談受付件数は、131件（累計267件）です。
詳細は、家電製品PLセンターホームページのインフォメーションを参照願います。
<https://www.aeha.or.jp/plc/houkoku/>

◆家電製品国内出荷額の月別・年度別推移データを更新

2022年3月度実績と年間推移を、協会ホームページに掲載しました。
<https://www.aeha.or.jp/about/pdf/shukkasuii202203.pdf>

■ □ ■ 溜池ボイス ■ □ ■

◆そろそろ潮時

先日ある番組を観ていると、「この小籠包、“肉汁”がすご〜い!!」と言う場面で、“にくじゅう”と聞こえてびっくり。この世に生を受けて60年、今まで「にくじる」と信じていた私にとって、自分の国語力の無さに落胆したのですが、端末で「にくじる」と叩けば、きちんと「肉汁」と変換されるのを見て、あながち間違いでもないと感じ安堵しました。



自己満足はさて置き、「肉汁」は正式には「にくじゅう」と読むのが正しいようです。熟語「音+音の法則」があり、「ニク」は「肉」の音読みですので、それに続く「汁」も「ジュウ」と読み、「にくじゅう」となるらしく、言われてみれば、「墨汁」を「ぼくじる」とは言いませんよね。

また、強盗事件などで「二人組の犯行」を「ふたりぐみの犯行」と読みがちですが、これも正式には「ににんぐみの犯行」と言うのが正しいようです。二人三脚（ににんさんきやく）、二人羽織（ににんばおり）などと同じですね。しかし、現在ではあまりにも「ふたりぐみ」が浸透しているので、ニュース報道などでもこちらを使う場合が多いという事です。

このように、言葉は常に変化しますので、発音・アクセント、意味や用法、漢字の表記や読み方など、以前は正しいことが知らない間に間違いになることもあります。最近ではSNSのおかげで、誰もが気軽に言葉を発信できるようになり、新しい(間違った)解釈の言葉が瞬く間に伝播してしまいます。



良い例が、「潮時」という言葉。普通、「引き際」「別れ話」を連想し、交際相手から「私たち、そろそろ潮時ね」と言われれば、「関係を清算する」と考えますよね。しかし、元来「潮時」とは「絶好のタイミング」の意味で、昔漁師が船を出す時に、潮の様子（満潮・干潮）を見て決めたことに由来する言葉です。ですので、「そろそろ潮時ね。」と言われれば、プロポーズされていると考えるのが本来の解釈だと言えます。ただし、これも今では「別れ時」の方が浸透していますので、そちらで構えておくほうが無難でしょうね。



本メールは一般財団法人家電製品協会の賛助会員の皆様に配信しています。
記載された内容を許可なく転載・複製することを禁じます。

【配信停止方法】

本メールの配信の停止をご希望される方は、会社（団体等）名、氏名及び「配信停止を希望する」旨を本メールの返信にてご連絡ください。

